

— AMAN

2019年12月20日

アマンは北海道に国内4つ目となる「アマン ニセコ」をオープンいたします。

アマンは2023年、北海道ニセコに日本で4つ目となるリゾート施設「アマン ニセコ」を開業いたします。手つかずの自然が残るモイワ山の斜面に建ち、オールシーズンを楽しめるリゾートとして営業いたします。30室のゲストルーム、そして約187万平方メートルの敷地内にレジデンスと大規模なウェルネス施設、および複数のレストランを併設した通年営業の同リゾートは、北海道の新たなアマンの基盤として注目されることでしょう。 (www.aman.com/niseko)

ニセコは豊かな降雪量と広く長いスキースロープ、そしてパウダースノーで知られおり、夏の間も過ごしやすい気候で、ハイキングやマウンテンバイク、ラフティングなどのアクティビティに最適です。また壮大な山々や森、水のきれいな溪流とともにニセコの風景は何世紀にもわたって芸術家や詩人を惹きつけ、温泉、アイヌの人々の貴重な文化、そして食の愉しみなど数々の魅力を湛えています。ゆったりと大自然に浸るアマン ニセコは、レストランや文化施設、エンターテインメント施設が集まる、モイワ、ニセコひらふ、ニセコビレッジ、アンヌプリ、ニセコ花園などの5つの繁華エリアへも数分の距離に位置しています。

日本の旅館に着想を得たアマン ニセコは周りを森と山々に囲まれ、各部屋には暖炉のあるオープンスペースとプライベート温泉施設を備えています。また、各部屋のテラスからは周囲の山々の眺望が楽しめるほか、室内には環境と調和した木材を多用し、自然のぬくもりと奥深さを肌で感じていただけるよう設えています。

ニセコの大自然および独自の文化の趣を取り入れた同施設の建築デザインは、アマン東京、アマネム、そしてアマン京都に続きケリー・ヒル・アーキテクツが手がけました。床から天井まで直線的なガラス素材でできた窓と、出入り口で仕切られた空間は外と内を自然に繋ぐデザインで、中心となる壁は、一日の太陽の動きと季節の移ろいが心地よく感じられるでしょう。

アマン ニセコは国内初のスパ&ウェルネスリゾート施設として、様々な体験を通じて心身と魂に安らぎと健康をもたらす役割を果たします。ゲスト一人ひとりにきめ細やかなカウンセリングを行い、カスタマイズされたリゾートプログラムは、日本とヨーロッパのスパや、ヒーリングリチュアルの効果に着目したプログラムに加え、フィットネス、マインドフルネスアクティビティを取り入れ、同時に、ヘルシーでバイタリティに溢れる贅沢な食事が提供されます。

アマン・スパは、シングルおよびダブルトリートメントスイート、プレトリートメントラウンジ、リラクゼーションポッドに加え、フィンランド式サウナ、ワツ施術室、冷水プランジプール、スチームルーム、ハمام、エクスペリエンスシャワーと温泉から成る広大なサマルスパエリアを備えています。室内プールとアクアフィットネスプールは森と山の眺望が楽しめるテラスに面し、ゆったりとしたスパラウンジからはブティックとスパティールームへアクセス可能です。

そして、山中の隠れ家としてだけでなく、食のデスティネーションとしても魅力的です。複数のレストランがあり、アマンがグローバルに展開するファインダイニング、和食の「Nama」とイタリアンの「Arva」をはじめ、季節ごとの旬の食材を味わうレストランを展開します。冬には、寛ぎや幸せ感のあるシンプルな料理を、夏には軽やかな夏らしい料理を提供いたします。

AMAN

2階建てのネイチャー & アクティビティセンターは、レセプションエリア、ヘルシーリフレッシュメントエリア、抹茶バー、インドアプレイグラウンド、ボーリングレーン、ゲームゾーン、シアターおよびハーフバスケットコートを用意しています。さらに幼児用プレイエリアと休憩ルームも設置され、専任スタッフがきめ細やかにお子さまのお世話をいたします。

アマン ニセコ内の31棟の個人レジデンスは、北海道の壮大な自然の中でゆったりとお過ごしいただける、アマンならではの豊かなライフスタイルを送る特別な邸宅となります。また、同施設は日本初の自然保護区内に位置するレジデンスとなり、このレジデンスオーナーはアマン ニセコのウェルネス、およびダイニング施設を自由に利用できるだけでなく、自然保護区に邸宅を持つ、という日本で初めての特権を手に入ることとなります。

壮大な羊蹄山の眺望と樹々の連なるスロープに面した2階建ての独立型レジデンス施設は、リゾートと同じく静かな落ち着きに満ち、室内デザインは各オーナーの嗜好に応じカスタマイズされ、ホームシアター、マッサージルーム、ワインセラー、シガールームもオプションで併設可能です。また、各レジデンスには内湯と外湯を備えたプライベート温泉施設、エンターテインメントエリア、スタッフルーム、3つのスイート仕様ベッドルームと中二階のロフトスペース、天井付きガレージとスキールーム、そしてゆとりの広さのストレージルームが備わります。

アマン会長兼CEOであるウラジスラフ・ドロニンは、「アマン ニセコは今年11月に満を持してオープンしたアマン京都に続く施設となり、広大で澄み渡る自然環境に溶け込むようにデザインされています。リゾートとレジデンスでは、どこまでもディテールを追求するアマンの一貫した哲学を反映するとともに、心温まるサービスをご提供いたします。四季を通じて愉しめるリゾートは、日本の最も美しい情景とてなしの心を兼ね備えた安息の地となるでしょう」とコメントしています。

アマン ニセコはアマン京都と同様、チャータードグループの傘下である株式会社京都リゾートにより所有されます。チャータードグループ会長のエヤル・アグモニ氏は、「日本国内の次なるアマンを披露できる日を心待ちにしています。このリゾートは、我々が所有し開発を手がける特別な渓谷、自然保護区に指定される丘の中腹の森の中に位置します。アマンにとっての新たなデスティネーションはレジデンスも備え、日本での新たなベンチマークとなるでしょう」と述べています。

アマンは、プライベートな邸宅にいるかのような心温まるもてなしと、常に小規模であること、そして美しい際立つラグジュアリーで非日常的な体験のできる、プライベートなリゾート・コレクションとして **1988** 年に創設されました。そのコンセプトは、初のリゾートとして誕生したプーケット島のアマンプリ(平和なる場所)から、世界へと発信されていきました。現在、アマンは、ブータン、カンボジア、中国、ドミニカ共和国、フランス、ギリシャ、インドネシア、インド、イタリア、日本(ニセコ 2023)、ラオス、メキシコ(2021)モンテネグロ、モロッコ、フィリピン、サウジアラビア(2023)、スリランカ、タイ(バンコク 2022)、トルコ、タークス & カイコス諸島、北米(ニューヨーク 2020、マイアミ 2023)の 22 のデスティネーションにて 40 軒(2023 年までの開業予定を含む)のリゾートを展開しています。

お問い合わせ先
アマンリージョナルセールス

福田 晃子 [Email: tfukuda@aman.com](mailto:tfukuda@aman.com)
鈴木しのぶ [Email: ssuzuki@aman.com](mailto:ssuzuki@aman.com)